

【三重】中田商事（中田純一社長、三重県伊賀市）

情報管理室の藤森純子室長は、中小物流企業ではまだ珍しいIT（情報技術）専門スタッフだ。労働時間など社内データ管理を行っているため、各種認証の申請も担当。2020年11月以降、女性活躍推進企業に与えられる厚生労働省の「えるぼし認定」、国土交通省の働きやすい職場認証（運転者職場環境良好度認証）をそれぞれ取得したが、データの整理と可視化を進めてきた藤森氏が認証取得に大きく貢献した。

09年7月入社。事務機器

## 中田商事情報管理室長

藤森 純子氏

# IT活用しデータ管理

メーカー勤務を経て、フリーランスのパソコン（PC）講師をしているとき、中田商事の日報エクセルを作成

がであったが、優しく受け入れてもらった。まずは原簿管理の勉強に取り組んだ」と振り返る。中田氏は翌10年、改善基準告示に対応するため時間給制度の導入に踏み切るが、その際、藤森氏がデータ収集してシミュレーションを行い、手書きで写さなくても情報を取り出せるデジタルタコグラフの導入も進言した。

「運送業界を全く知らず、少し怖いイメージ

藤森氏は「IT関係は日々進化しているので、ついていくのは本当に大変だ

## 専門スタッフ デジタコ導入を進言

が、上手に使えば大幅に業務を効率化できる。将来的には、人工知能（AI）を活用した配車も当たり前になると思うので、最近はAIの研究も始めている」と話す。

その上で、「今後、社員が増えてくれば、データ管理も更に忙しくなる。IT活用を担う若い世代を育てていく。一方で、他社の取り組みも含め業界全体のことでも知りたい。入会した三重県トラック協会女性部会（小谷まゆみ部会長）で勉強しながら、私も皆さんのお役に立ちたい」と力を込める。

（星野誠）

